



ばらばらで一緒
～ 美香保中だより～

発行 札幌市立美香保中学校

住所 東区北17条東6丁目1-1

電話 (011)-711-8151

「令和8年度第3回みかほっ子サミット」 対話で目指す“幸せな知恵”

校長 山本 敬一

全校で取り組む初めての「みかほっ子サミット」お疲れさまでした。

昨年度まで、美香保中の代表者が参加していた「みかほっ子サミット」でしたが、今年度はメイン会場とサテライト会場に分けて、美香保中全校で参加するスタイルに進化しました。

今年度は、私たち美香保中の取組に注目する多くの参観者が来場しており、メイン会場は、かなりの緊張感に包まれてスタートしました。そんな中でも美香保中代表のみなさんは、リーダー役としてサークル対話を引っ張って、今年度もたくさんの発言が飛び交っていました。サテライト会場の各学級もたくさんの意見が出て、どんなまとめになるのか楽しみです。

4月からみなさんは、美香保中学校を「ばらばらで一緒な学校」にするために、たくさんのことに挑戦しています。「みかほっ子サミット」は、その土台となる貴重な取組です。中学生が小学生や大学生、保護者や地域の方と同じ土俵で、語り合う機会は、どこの学校でもやっているという取組ではありません。美香保中学校独自の取組です。

このような経験をしたことのない人は「話し合ったからって、何になるの？」と言うかもしれません。でも開会の言葉にあったように『対話をする事自体に重要な意味がある』のです。対話をする事で相手のことを知り、互いの学校のことを知り、地域のことを知り、今まで知らなかった事をたくさん知ることができます。“知る”ことで、次に何かを考えるときに“知っている人（人々）”に思いをはせることができ、新しい“知恵”を生みだすことができるのです。そうすることで、目の前の結果を求めるよりも大きな成果を得られることでしょう。

対話は、好きか嫌いや得になるか損をする、敵か味方のような単純な仕組みから、私たちを解き放ってくれます。「自分の考えを相手に伝えて相手のことを受け止めること」で、“ばらばらで一緒に幸せに生きていく知恵”を得ることができるのです。

きっと、この「みかほっ子サミット」は、美中オリンピックやごちゃまぜ対話を取り入れた生徒総会などに続く、私たちの誇れる活動の一つになっていくと楽しみにしています。





サミットの声をちょっとご紹介

対話① テーマ「私たちの学校や地域の好きなところ」

（地域・美香保中に関わるもの）



「礼儀正しく、あいさつが良い」

「交通の便が良い」

「学年の壁を越えた関りがある」

「美中オリンピックなどの特徴的な行事がある」

「近くにコンビニやスーパーが多い」

「サンプラザホールでの合唱コン（祭）がある」

「地域の治安が良い」

「図書室にたくさんの小説があって楽しい」



「先生が親しみやすく優しい」

「校舎がきれい」

「学年も異学年同士も仲が良い」



「大きい公園がある」

「みんなが笑顔で過ごしやすい」

対話2は、別の機会にご紹介することになると思います。今回は、来校されたみなさんもみかほっ子のパワーに驚いていました！！さすが、みかほっ子！
ばらばらで一緒に学校にまた一步近づきました。素晴らしい！